

NAKA

広報 [なか]

2025春号 VOL.187

公益社団法人 名古屋中法人会

interview

名古屋国税局長インタビュー

デジタル化の 進歩に向けて

Activity report 活動報告

To the future 未来貢献事業

未来へつなげたい話

南鍛治屋町は
風光明媚な
リゾート

高橋英樹 講演会

「人が居て、私が居る。」



令和7年

年頭のご挨拶

INDEX



Nagoya Castle



Chubu Electric Power Mirai Tower
Yamazaki River



- 3 NAKA schedule
- 4 令和7年 年頭のご挨拶
公益社団法人 名古屋中法人会 会長 杉浦正樹 氏
名古屋国税局 課税第二部長 堀内誠一郎 氏
- 6 名古屋国税局長インタビュー
名古屋国税局長 湯下敦史 氏
- 10 俳優・高橋英樹 講演会
「人が居て、私が居る。」…名古屋市内9法人会合同講演会
- 14 【Activity report】 より良い経営者を目指す NAKA の活動報告
名城支部視察研修…………… 14
栄東支部バス視察研修
東部三支部合同視察研修
新設法人研修会…………… 15
女性部会署長講演会
若手職員研修会
納税表彰式…………… 16
伊東合資会社見学会…………… 17
錦三支部 名古屋市からの感謝状贈呈式
名古屋中税務署長への新年ご挨拶…………… 18
女性部会理事会 新年会
令和7年新春署長講演会 名古屋中法人会 新年賀詞交歓会 …… 19
- 20 【To the future】 これからため、私たちにできること
名古屋中税務連絡協議会「暮らしの中の税金展」表彰式と展示 …… 20
第27回 中法人会TAX杯ミニサッカー大会 …… 22
名古屋市児童福祉施設等の児童生徒をプラネタリウムに招待 …… 24
平和学区健康パトロール
「就労支援イベント」新しい雇用のかたち …… 25
- 26 ナゴビト
名古屋で輝く人に聞く
パティシエ 高須聰 氏
- 30 未来へつなげたい話
NAKAのカタリベが贈るコラム 深田正雄 氏
- 33 MEMBER's TOPICS
会員募集中
- 34 行事メモ

NAKA schedule 2025

2月

2月～6月

26(水) 愛知県連・大規模法人経営者国税局長講演会

講師：名古屋国税局長 湯下敦史氏
名古屋マリオットアソシアホテル
15:30～

3月

7(金) 東海法人会連合会大会三重大会

ホテル花水木 桑名市
13:30～

4月

2(水) 3(木) 4(金) 7(月)

新入社員研修会 新社会人の租税教室
名古屋中税務署・広報広聴官
昭和ビル9階ホール
10:00～17:00

12(水) 理事会

昭和ビル9階ホール
15:00～

19(水) 常任理事会

昭和ビル9階会議室
15:30～

9(水) 理事会

昭和ビル9階ホール
15:00～

5月

14(水) 決算期別研修会（4～6月決算）

昭和ビル9階ホール

10(木) 経営研究会 総会

東京第一ホテル錦
18:00～

28(水) 親会 第14回通常総会・理事会 14:00～

記念講演会 16:00～
講師：未定
名古屋東急ホテル

15(火) 女性部会 通常総会・記念公演会

講師：Super Acoustic Session
名古屋東急ホテル
14:30～

6月

18(水) 19(木) 20(金)

2025年度 税制改正の実務ポイント研修会
昭和ビル9階ホール
13:30～

23(水) 青年部会 総会・役員会議

東京第一ホテル錦
18:00～

24(木) 愛知県連 正副会長会議 11:30

理事会 12:00
名鉄グランドホテル

赤文字はどなたでもご参加いただける事業です。

事前に申込みが必要なものもあります。

また、状況に応じて変更または中止となる場合があります。

名古屋中法人会ホームページをご確認のうえお出かけください。



公益社団法人
名古屋中法人会ホームページ



令和7年

年頭のご挨拶



公益社団法人
名古屋中法人会 会長
杉浦 正樹

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、日頃から法人会の活動に対して深いご理解と暖かいご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

2024 年を振り返りますと、年初早々、石川県能登地方を中心に震度 7 の大地震が発生し甚大な被害をもたらし、さらに 9 月には未曽有の豪雨が重なり、多くの方が犠牲になりました。被災された方々には、心よりお見舞いを申し上げますとともに、一刻も早い復興をお祈り申し上げます。さて、スポーツ界に目を転じますと、大谷翔平選手がメジャーリーグで史上初の「50-50」を達成し 3 度目の MVP を受賞するなど、世界中を沸かせたことは記憶に新しいところです。また、パリオリンピックでは、アメリカ・中国に次ぐ数の金メダルを獲得するなど、日本人として誇らしく感じられる明るいニュースもありました。

経済面においては、多くの産業で業況が改善し、株式市場でも日経平均株価がバブル期の最高値をついに超えて 4 万円台に達するなど、「失われた 30 年」からの脱却を印象づける動きも見られました。本年は、4 月に大阪・関西万博博覧会も予定されており、国内の経済発展をさらに後押ししていくものと期待されます。

さて、名古屋中法人会は公益社団法人として、税務研修会、社会貢献事業等を進め、春から夏には毎年恒例の「税制改正のポイント研修会」をはじめとする「各種税務研修会」の開催、秋には「ニコニコランド」「ミニサッカー大会」などを開催し、多数の市民参加を得ることができました。

名古屋中法人会は、企業の発展と地域の振興を支援する税のオピニオンリーダーとして、国と社会の繁栄に貢献する経営者の団体として、税務研修会などを通じて会員の積極的な自己啓発をサポートし、納税意識の高揚と企業経営及び社会の健全な発展を目指すとともに、地域社会への貢献に努めて参ります。

皆様には今後とも法人会の活動に倍旧のご理解、ご支援をいただきますよう宜しくお願い申し上げます。

結びになりましたが、会員の皆さまのご健勝並びに、会員各社のますますのご繁栄を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



名古屋国税局
課税第二部長

堀内 誠一郎

名古屋中法人会の皆様へ 謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

会員の皆様には、平素から税務行政につきまして深い御理解と格別の御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

公益社団法人名古屋中法人会におかれましては、「税のオピニオンリーダー」として、「租税教室」や「税に関する絵はがきコンクール」といった税の啓発活動のほか、地域社会への貢献活動を実施していただいております。

私どもにとりましても、皆様のこうした活動は大変心強いものであり、杉浦会長をはじめ、役員の皆様並びに会員の皆様の日頃の御尽力に対しまして、心から敬意を表する次第であります。

昨年は、物価の高騰や気候変動の影響などを強く感じた一年でしたが、パリオリンピック・パラリンピックでの多くの日本人選手の活躍や、スポーツ選手の海外での活躍など、大変喜ばしい出来事もありました。

このような中、新しく迎える年が、会員の皆様にとって充実した年となりますことを祈念いたしますとともに、公益社団法人名古屋中法人会が引き続き魅力ある事業活動を展開され、会員企業と地域社会の発展に一層の貢献をされますことを御期待申し上げます。

私どもといたしましては、本年も引き続き、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に

実現する」という使命を果たすために、グローバル化やデジタル化の進展等の経済社会の変化に柔軟に対応し、様々な課題に的確に対応していくことが重要であると考えております。

国税庁が推進する「税務行政のDX(デジタル・トランスフォーメーション)」は、こうした変化に応対するための取組のひとつであり、これまで以上に納税者の皆様の目線に立ち、日常使い慣れたデジタルツールから簡単・便利に手続を行うことができる環境構築や、データ活用を基軸とした調査・徴収事務運営など、「納税者の皆様の利便性の向上」、「課税・徴収事務の効率化・高度化」を進めてまいります。

更に、税務行政のデジタル化と併せて、法人会をはじめとする関係民間団体の皆様や関係省庁とも連携を図りながら、「事業者のデジタル化促進」にも取り組み、社会全体のDX推進に貢献してまいりたいと考えております。

本年も、法人会の皆様との信頼関係をより深るものとし、これらの取組を進めてまいりたいと考えておりますので、一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに当たりまして、公益社団法人名古屋中法人会の更なる御発展と、会員の皆様の御健勝並びに事業のますますの御繁栄を祈念いたしまして、年頭の御挨拶とさせていただきます。

「税」と「私たち」のより良い 関係を目指して



名古屋国税局長
湯下 敦史 氏

デジタル化の 進歩に向けて

——名古屋国税局長として
ご抱負をお聞かせください。

税務行政を取り巻く環境は、経済社会のグローバル化・デジタル化の進展など、これまで以上に目まぐるしい変化を繰り返しています。

このような状況の中、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」という国税庁に負託された使命を果たしていくために、これまで以上に質の高い税務行政を進め、納税者の皆さまのニーズにお応えしつつ、的確なサービスを提供することにより、税務行政に対する国民の皆さまの理解と信頼をさらに強固なものにしていく必要があると考えています。

そのため、国税当局全体の取組としてデジタル化を大きく進めており、その取組に当たっては、納税者の皆さまにとって使いやすいものであること、国税当局においても効率的で効果的な課税・徴収ができるものであること、事業者の皆さまのデジタル化を後押しすることという

3つの目標を掲げています。

この取組については、行政全体がデジタル化する中で、国税当局としても本格的に力を入れているところであり、6,000人の名古屋国税局の職員が事業者の皆さまとの

結節点として、常に皆さまのお声をしっかりとお聞きしてそれを国税庁にも伝え、アジャイル（素早い・機敏）な形で改良を重ね、より一層良いものにしていきたいと考えています。



令和6年10月26日 名古屋国税局主催 伝統的酒造りシンポジウム in 岐阜会場にて
(写真中央：湯下局長)

社会全体のDXの実現を

——「デジタル化の推進」について、
具体的にどのようなことをお考えでしようか。お聞かせ願います。

デジタル化の推進については、国税庁において令和5年6月に「税務行政のデジタル・トランスフォーメーション(DX)－税務行政の将来像2023－」を公表し、その中で3つの柱を掲げ、これらを基に国税として各種施策に取り組んでいます。

まず、1本目の柱である「納税者の利便性の向上」では、普段それほど税に馴染みのない方でもスマートフォン・タブレット・パソコンなどの日常の中で使い慣れたツールから簡単・便利に申告等の税務手続を行うことができるよう、これまで以上に“納税者目線”を大切にした各種施策を講じることで、税務手続のデジタル化、いわゆる「あらゆる税務手続が税務署に行かずにできる社会」の実現を目指しています。

例えば、確定申告では申告に必要なデータを自動で取り込むことで、数回のクリック・タップで申告が完了する仕組みである「書かない確定申告」の実現を目指し、マイナポータル連携による自動入力の対象拡大に取り組んでいます。

この自動入力に関しては、令和6年2月から給与情報について、事業主の方がe-Taxで提出された「給与所得の源泉徴収票」の情報が自動入力の対象となっています。事業主の皆さんにおかれましては、従業員の方々が自動入力を利用できるよう「給与所得の源泉徴収票」のe-Taxでの提出にご協力いただきたく思います。

次に、2本目の柱である「課税・徴収事務の効率化・高度化」では、税務当局の業務においてAIやデータ分析・オンラインツールなどの活用を通じて、データの活用を徹底し、組織としてのパフォーマンスの最大化を目指しています。

最後に、3本目の柱である「事業者のデジタル化促進」では、政府全体として取り組む重要な課題である事業者の取引全体のデジタル化、会計・経理全体のデジタル化を強力に推進するため、関係省

庁と連携を図りつつ、その後押しをすることとしています。

事業者の皆さんにおかれでは、税務手続のデジタル化と併せて、クラウド会計ソフト等の導入による会計・経理のデジタル化、さらには全銀EDIやペポルインボイス等の活用による経済取引のデジタル化を進めていただくことにより、日常的な関連業務を一貫してデジタル処理でき、事務処理の正確性や効率性の改善及び収益性や生産性の向上といったメリッ

トを享受することができます。

国税当局としては、事業者のデジタル化を促進することを通じて、税務を起点とした社会全体のDXの実現を推奨していきます。

これらの取組は、国税当局だけ進められるものではなく、法人会をはじめとした関係民間団体・自治体・税理士など、様々な関係者の皆さんとの連携・協調なくして成し得ないことであると考えています。



キャリアを振り返り

——これまで外務省で欧州連合日本政府代表部参事官、主計や理財関係のお仕事にも長く関わってきた局長ですが、当時の経験を通じて印象的な出来事などがありましたらお聞かせください。

私が外務省に勤めていたのはちょうど東日本大震災の時期で、放射能汚染の可能性があるとの理由で世界中から食品輸入を禁止された時期もありました。心に残っているのは、食品安全に一番厳しい欧州に何か輸入規制を緩めてもらうため、日本酒やウイスキーでまずは認めてもらおうと、大使のリーダーシップのもとで欧州委員会を説得にまわり、僅差の投票で日本から輸出を可能にするとい

う成果をもたらせたことです。

主計局では、裁判員制度や法テラスなど司法制度改革の実施を行ったことや、物流面で周辺国に負けないよう、空港・港湾の整備に奔走したことが印象に残っています。理財局では、コロナ禍で困っている方々にゼロゼロ融資等を届けるため、40兆円余りとなる前例のない規模の財政融資資金を措置したことが私の中では大きな経験になりました。